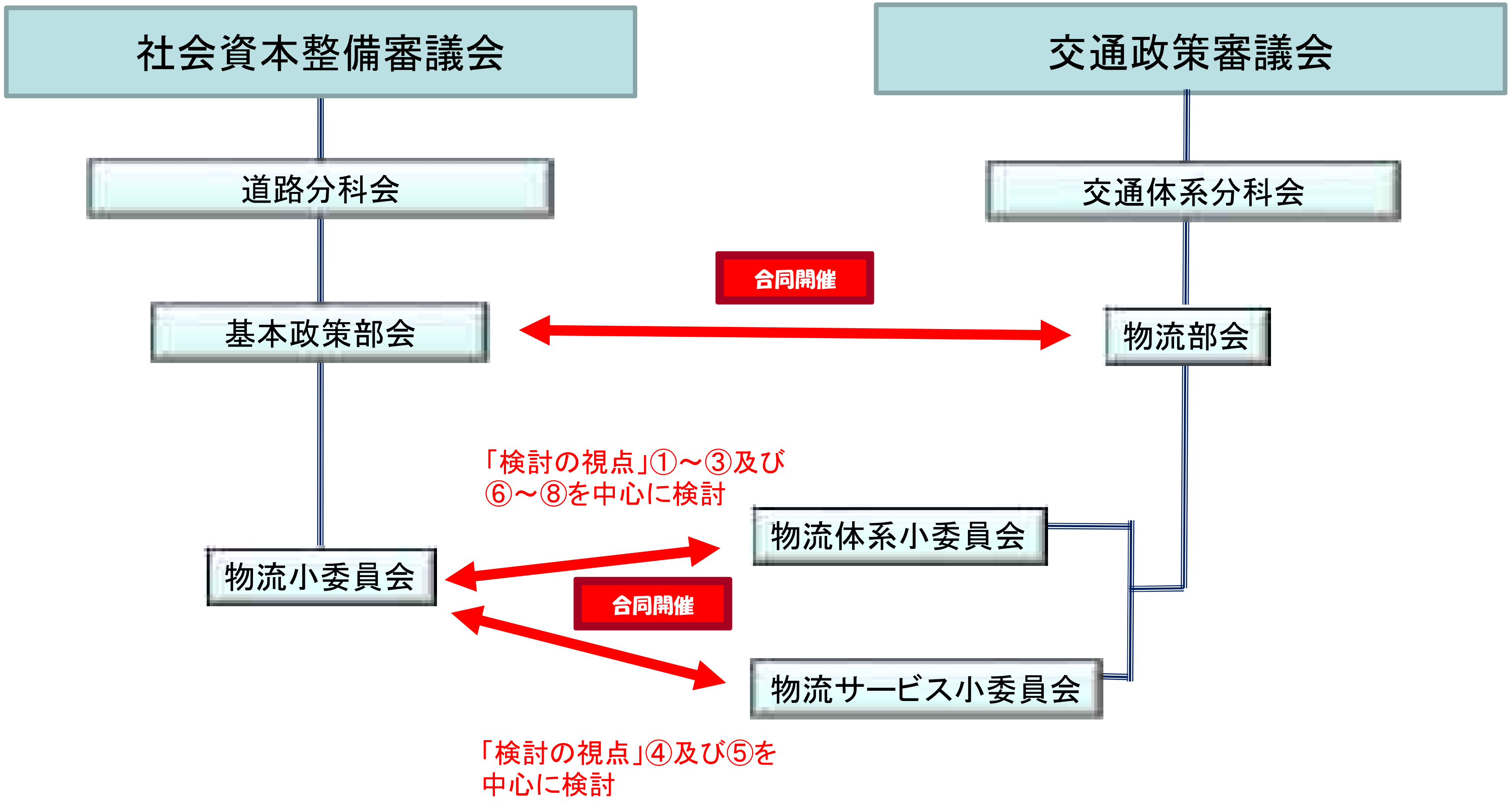
小委員会について

資料1

社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会と交通政策審議会交通体系分科会物流部会において今後の物流政策を審議するにあたって、両部会にそれぞれ小委員会を設置し、合同で審議を進めることとする。



検討の視点

＜中長期的な物流政策＞

①「国土のグランドデザイン2050」「社会資本整備重点計画」「交通政策基本計画」等を踏まえ、中長期的な物流政策をどのように進めるべきか。
⇒（具体例）労働力人口の減少に対応した物流の効率化・省力化、既存ストックの有効活用等

＜広域物流＞

②モーダルシフトの更なる展開やトラック輸送の更なる効率化に向けて、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例）幹線ルートでの取組の強化、事業者の連携による輸送の促進、大型車の通行の誘導等

③国際コンテナ戦略港湾（京浜港、阪神港）、貨物鉄道等の既存インフラ施策とソフト施策との連携を通じたストック効果の一層の発現の観点から、物流の高度化・効率化に向けて、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例） 国際海上コンテナのラウンドユース（往復利用）の促進、背高コンテナに対応した低床貨車の開発、オンドックレールの検討等

＜地域物流＞

④大都市の活力を物流面からさらに高める観点から、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例）地域における共同配送の促進、再配達の削減、物流に配慮した建築物の設計・運用等

⑤過疎地等における持続可能な物流ネットワークの構築に向けて、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例）地域の活動拠点（小さな拠点）の活用、NPOや自治体との連携等

＜その他＞

⑥物流施設の機能強化や災害対応力向上に向けて、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例）老朽施設の更新のあり方、災害時の物流支援機能の強化、都市政策との連携等

⑦物流分野での先進的技術の導入・活用に向けて、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例）鮮度保持技術、ITS（※1）、トラックの隊列走行、パワーアシストスーツ（※2）、小型無人機等

⑧物流事業者の国際競争力の強化に向けて、どのような施策を講じるべきか。
⇒（具体例）我が国物流システムの海外展開に向けた関係国との協議、先駆的取組の実施、人材育成等

※1）ITS：
高度道路情報システム
(Intelligent Transport Systems）

※2）パワーアシストスーツ：
人体に装着し、モーターや圧縮空気などの動力により人の動きを補助する衣服型、骨格型の装置